

栃木県総合計画「とちぎ元気プラン」(案)の概要

平成 18 年 2 月

1 計画の役割

○ 県政の基本指針

郷土“とちぎ”の中長期的な将来像を描き、その実現に向け、県民と共有すべき基本的な考え方や目標を明らかにするとともに、政策や施策の展開方向などを示すもの

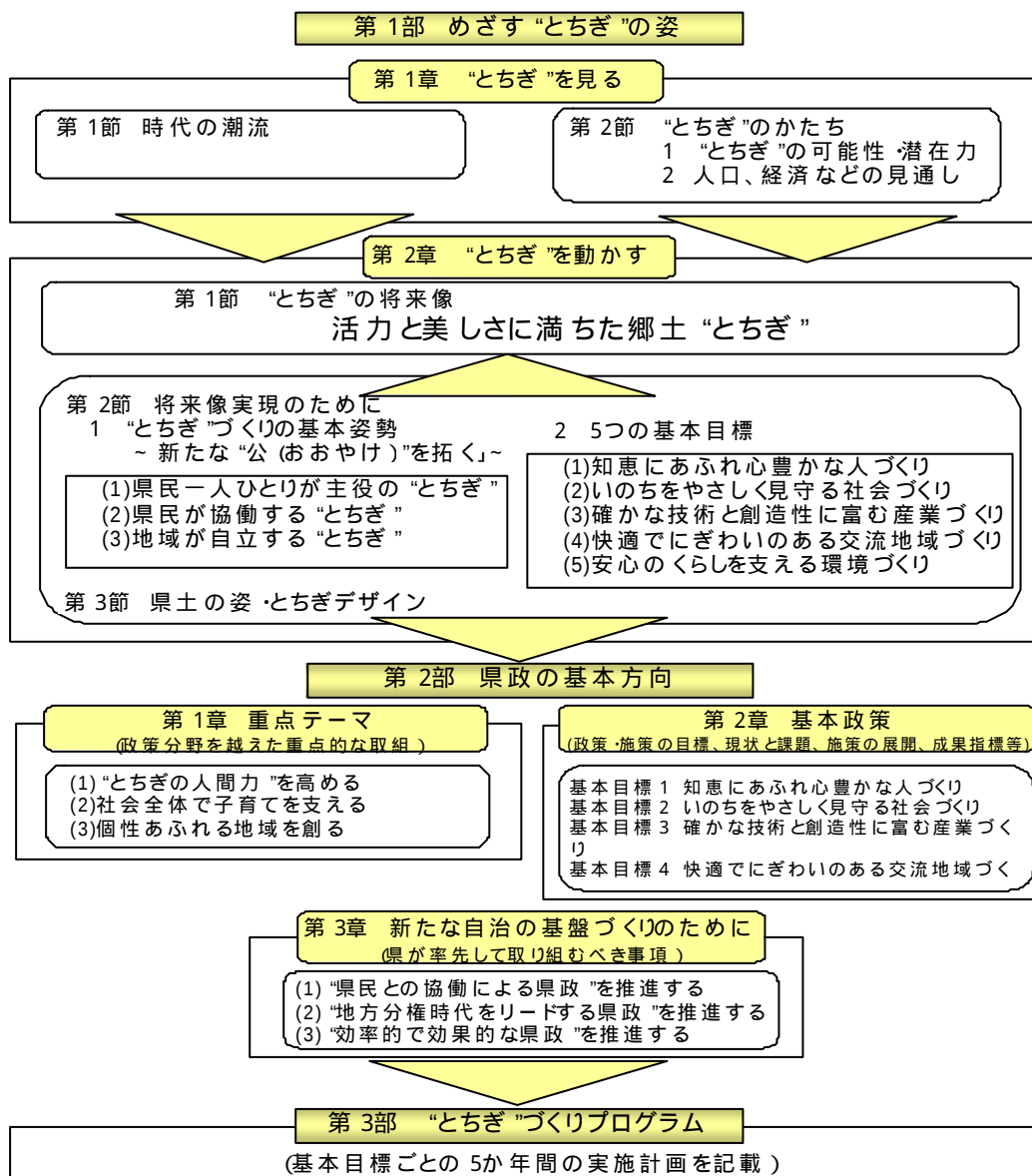
○ 共通の目標

県民や企業、各種団体、市町村など、すべての“とちぎ”づくりの担い手と一緒に考えて、行動していくための目標を示すもの

2 計画の期間

平成18(2006)年度から平成22(2010)年度の5か年

3 構成



4 特徴

1) 「“とちぎ”づくりの基本姿勢」(～「新たな公(おおやけ)を拓く」～)の提案

本県の将来像を実現するため、「行政のみが公(おおやけ)を担う」という従来の考え方から脱却し、「新しい公(おおやけ)を拓く」という考え方に立ち、すべての人がお互いの立場や垣根を乗り越えて、郷土の課題に対して一緒に取り組んでいけるよう、これからの“とちぎ”づくりの原点となる「人と社会のあり方」を「基本姿勢」として提案

- 「県民一人ひとりが主役の“とちぎ”」

すべての県民が、学ぶこと、働くこと、生きることについて、その意味や目的、そして喜びや楽しみを見出すとともに、社会に積極的に参画し、貢献していく

- 「県民が協働する“とちぎ”」

県民一人ひとりやボランティア、NPO、企業、行政などが、それぞれの立場を越え、さらには性別や世代といった垣根にとらわれることなく、連携・協力していく

- 「地域が自立する“とちぎ”」

地域のあらゆる主体が連携・協力し、主体的に課題を解決していく

2) 「重点テーマ」の設定

「基本姿勢」提案の趣旨を踏まえ、政策分野を越えて中長期的に取り組むものとして設定

- 「“とちぎの人間力”を高める」

すべての県民がそれぞれの持つ個性や能力を発揮できる環境づくりを進めることによって、一人の人間として自立し、社会の一員として積極的に活動していく“人間力”に満ちた“とちぎ”を築く

- 「社会全体で子育てを支える」

学校や地域、企業、行政などが、様々な立場から子育てを支えられる環境づくりを進め、次代を担う子どもたちを安心して生み育てていく

- 「個性あふれる地域を創る」

住民自らが創意工夫を発揮して、それぞれの地域が持つ資源や潜在力、可能性を活かすとともに、新たな活力を創造する地域を築いていく。さらに、こうした地域が交流・連携し、さらに輝きを放つことによって、住む人にも訪れる人にも魅力ある“とちぎ”を築く

3) 地方分権時代における県政運営の方向(「新たな自治の基盤づくりのために」)の明示

- 「“県民との協働による県政”を推進する」

県民とのパートナーシップの構築

(説明責任の徹底、県民の県政参画の促進)

積極的な協働の推進

(協働の基盤づくり、多様な協働の展開)

- 「“地方分権時代をリードする県政”を推進する」

市町村重視の県政の推進

(市町村の自主性・自立性の向上に向けた支援、広域的機能の発揮)

地方分権時代に向けた積極的な対応

(広域連携の推進、先進的な政策形成と国への提言等)

○ 「“ 効率的で効果的な県政 ” を推進する 」

選択と集中による業務の推進

（政策評価システムの有効活用、事務事業の見直し、多様な民間活力の活用）

職員と行政組織の活性化

（職員の意識改革と人材育成、地方分権時代にふさわしい組織体制の構築）

持続可能な財政基盤の確立

（自律的な財政運営に向けた取組の推進、歳出の抑制と税収入等の確保）

4) 「基本政策」構成上の主な工夫

- ・問題意識を共有するために施策ごとに「現状と課題」及び代表的なデータをグラフ等で記載
- ・計画期間中の施策の達成状況をできるだけ分かりやすく示す尺度として、施策ごとに3つの成果指標を設定
- ・施策の目標を達成していくため、県民や企業など様々な主体に期待される役割や具体的な行動を施策ごとに記載 など

5) 策定過程における県民参加手法の充実（新規のみ）

- ・アンケート調査の充実
（県民意識調査：対象者を5,000名に拡大、施策毎に満足度・行政への期待度を聴取等）
（高校生アンケートの実施：計画期間中に成人に達する年齢層の意向を把握）
- ・総合計画懇談会の充実
（委員数の増加36名→45名、部会の設置、専門委員の配置、公募委員の参加5名等）
- ・知事広聴事業や各種広聴事業における総合計画への県民意見募集チラシの配布

6) その他

- ・「各施策の読み方」の記載
県民とともに各施策の目標の達成を目指すという考えにより、各項目記載の意図を記述
- ・「市町村の振興計画等」の紹介
市町村とともに県政を進める観点から、市町村の振興計画等を紹介
- ・「部門計画」の記載
各分野ごとのより詳細な取組内容を知りたい方のために、施策ごとに部門計画名を記載